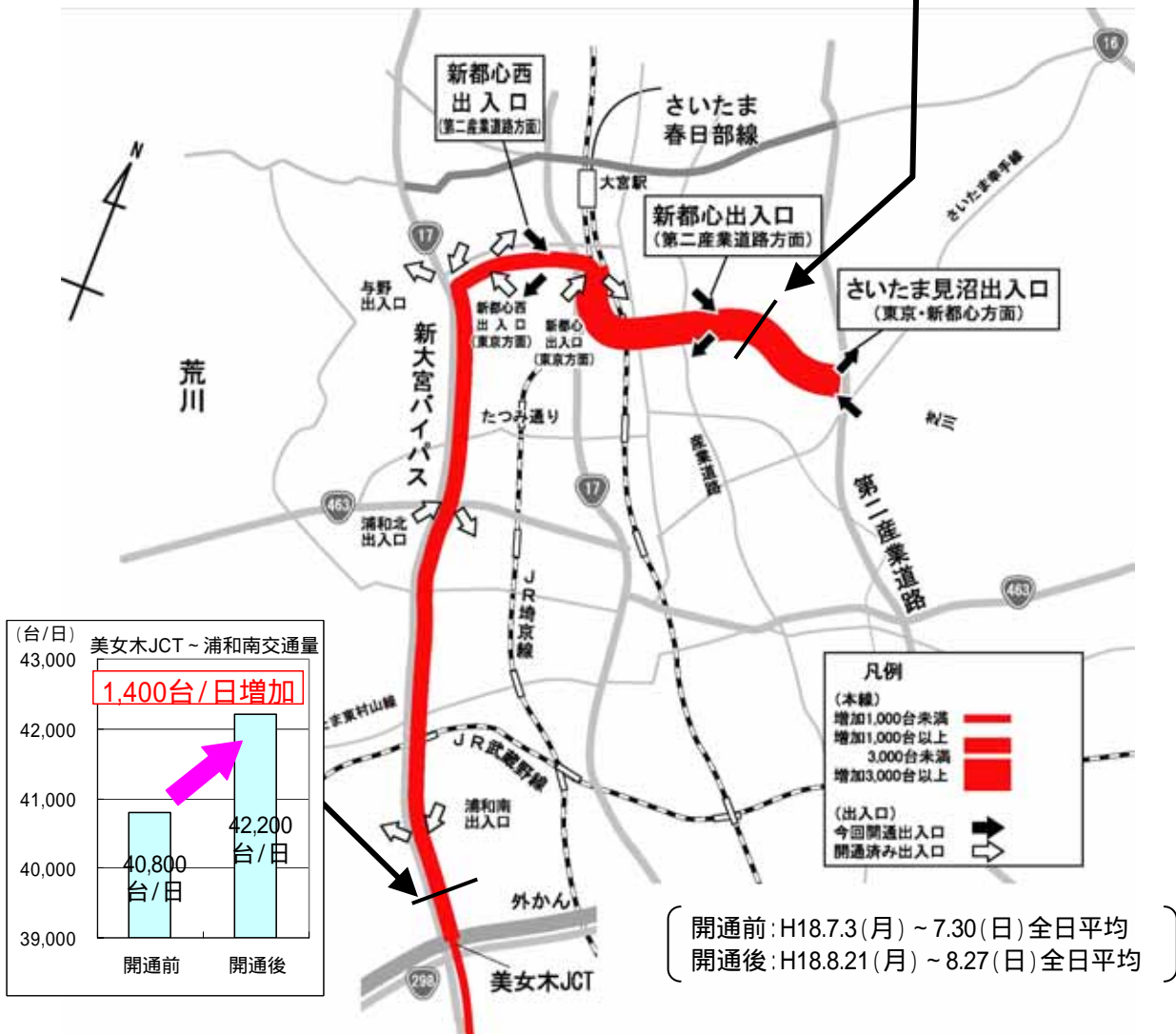




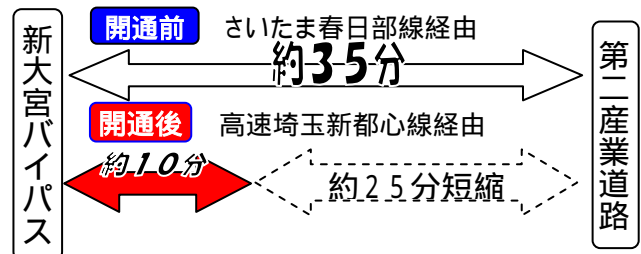
今回開通区間の効果（速報）

1. 首都高埼玉線では全線で交通量の増加が見られており、今回開通区間（新都心～さいたま見沼）は一日あたり **3,600 台** のお客様にご利用いただいております。

開通前後の交通量変化



2. 新大宮バイパス 第二産業道路間は開通前には一般道路経由でピーク時には約 **35 分** かかっていましたが埼玉新都心線のご利用で約 **25 分短縮** され約 **10 分** になりました。



開通前：H18.7.26(水)実測調査(ピーク時)  
 開通後：H18.8.23(水)実測調査(ピーク時)

3. 埼玉新都心線開通による **時間短縮効果** は実測調査結果より算出すると **開通後 1 ヶ月間で約 3 億円**。今後もより多くのお客様にご利用いただくことで、さらなる効果が見込まれます。

「費用便益分析マニュアル」(H15.8 国土交通省道路局 都市・地域整備局)を基に、開通前の一般道路利用(H18.7.26 調査)と、今回開通後の所要時間(H18.8.23 調査)の差による算出値。